

英語科 学習指導案

日 時	令和6年10月23日(水) 第5校時 13:40~14:30
対 象	第1学年B組基礎 18名 第1学年C組基礎 15名 第1学年B, C組発展 28名
指導者	教 諭 横沼 瑛人 主幹教諭 杉本 順一 講 師 佐々木 敢
場 所	1年B組教室 1年C組教室 1階英語学習室

- 1 単元名 「Unit5 This Is Our School」
(使用教科書：光村図書『Here We Go!』)

2 単元の目標

- (1) 学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。
- (2) お気に入りの学校内の施設について、尋ね合うことができる。
- (3) お気に入りの学校内の施設について、尋ね合おうとしている。

3 単元における授業の工夫

【「わかる」授業デザインへの工夫】

(1) 身近な話題で新出文法の場面を設定

生徒が興味をもちやすい身近な話題で、その文法を使った例文を扱う。また、使用場面を意図的に設定して、実際に使用する表現を想定して取り組ませる。

(2) 視覚的に理解を深めるためのICTの活用

文字の情報だけでなく、画像や動画を用いて視覚的に説明をすることで生徒の「わかる」を引き出す。クイズ大会の際、英文に加えてイラストイメージを添付することで、より英語の意味を理解しやすくする。また、ディズニーランドの航空動画や園内マップを用いて生徒の興味をひきつける。

【生徒が主体的に「できる」と確認したくなる授業デザインの工夫】

(1) 新出文法の定着度合いを確認するためのクイズ大会の実施

展開において、生徒がクイズを楽しみながら新出文法を使うことができたかどうか確認できるようにする。その際、スライドに問題を映しながらチーム対抗で行うことで、ゲーム感覚で学習ができるように工夫する。

(2) ペアワークや4人組における協働学習の実施

インフォメーションギャップを用いて、相手に情報を伝えることで「できる」を実感させる。また、4人組ではグループで答えを導き出すことで、英語が苦手な生徒の「できる」を引き出す。

(3) できたかチェックのまとめプリントや、パフォーマンステストの実施

基礎的な内容の質問事項を準備して、定着度合いを測る。また、その単元で学んだ文法や本文の内容を踏まえたうえで、英語でスピーチを行い、評価する。その際に、必ずフィ

ードバックをし、生徒が自身の取組を振り返り、次回につなげることができるようにする。

4 少人数授業について

「読むこと」と「書くこと」の2つを知識・技能における重点領域と捉え指導を展開している。この2つの領域に対して生徒が自信をもつことで英語がより身近なものになり、「聞く」領域に、より意欲的に取り組めるようになり、さらに日本人が特に苦手とする「話すこと」、つまり表現力の向上につなげられるとの仮説をもって指導に当たっている。少人数展開においても、その視点で授業を行うよう努めている。

5 単元の指導計画と評価計画（全9時間）

★「わかる」授業デザインへの工夫

☆生徒が主体的に「できる」と確認したくなる授業デザインの工夫

時	目標	学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）
第1時	ストーリーの話題を予測し、おおまかな内容をつかむ。	・Part1からPart3までのストーリーを聞き、おおまかに内容を理解する。 ★（ペアワーク）	・聞き取った内容について伝え合うことができる。 ★（ペアワーク）【知・技】
第2時	Part1の本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項（疑問詞 where）の意味・形・使い方を理解する。	・whereの意味、使い方の説明を聞き問題を解く。 ★（文法プリント） ・Part1の内容を理解し、問題に答える。 ★（新出文法を扱ったアクティビティ）	・whereの問題に正解することができる。 ★（文法プリント）【知・技】 ・whereの問題に粘り強く取り組もうとしている。 ★（文法プリント）【主】
第3時 （本時）	whereで始まる疑問文を使った会話を聞いたり、whereで始まる疑問文を使って話したり書いたりする。	・whereを使ったリスニング問題を解く。 ・whereを使ってディズニーランドのマップの説明をし合う。 ☆（ペアワーク） ☆（4人組グループワーク）	・whereを用いて、ディズニーランドのマップの説明をし合うことができる。 ☆（ペアワーク）【思・判・表】 ・whereを用いて、ディズニーランドのマップを説明しようとしている。 ☆（ペアワーク）【主】
第4時	Part2の本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項（命令文）の意味・形・使い方を理解する。	・命令文の意味、使い方の説明を聞き問題を解く。 ★（文法プリント） ・Part2の内容を理解し、問題に答える。 ★（新出文法を扱ったアクティビティ）	・命令文の問題に正解することができる。 ★（文法プリント）【知・技】 ・命令文の問題に粘り強く取り組もうとしている。 ★（文法プリント）【主】
第5時	命令文を使ったアナウンスを聞いたり、命令文	・命令文を使ったリスニング問題を解く。	・命令文を使って、標識の意味の説明をし合う

	を使って話したり書いたりする。	・命令文を使って、標識の意味を説明し合う。 <u>☆（４人組グループワーク）</u>	ことができる。 <u>☆（４人組グループワーク）【思・判・表】</u> ・命令文を使って、標識の意味の説明をしようとしている。 <u>☆（４人組グループワーク）【主】</u>
第６時	Part3の本文の内容を捉え、文脈の中で新出文法事項（疑問詞 when）の意味・形・使い方を理解する。	・ when の意味、使い方の説明を聞き、問題を解く。 <u>★（文法プリント）</u> ・ Part3の内容を理解し、問題を解く。 <u>★（when を使ったアクティビティ）</u>	・ when の問題に正解することができる。 <u>★（文法プリント）【知・技】</u> ・命令文の問題に粘り強く取り組もうとしている。 <u>★（文法プリント）【主】</u>
第７時	疑問詞 when を使った会話を聞いたり、疑問詞 when を使って話したり書いたりする。	・ when を使ったリスニング問題を解く。 ・ when を使ってペアと1日の生活の流れを話し合う。 <u>☆（ペアワーク）</u>	・ when を使ってペアと1日の生活の流れを話し合うことができる <u>☆（ペアワーク）【思・判・表】</u> ・ when を使ってペアと1日の生活の流れを話そうとしている。 <u>☆（ペアワーク）【主】</u>
第８時	学校公開の案内状を読んで内容を理解する。	・ 学校公開の案内状を読み、いつ、どこで、何の授業が公開されているかを読み取る。 <u>☆（４人組グループワーク）</u>	・ 学校案内の案内状を読み、問題に正解することができる。 <u>★（文法プリント）【知・技】</u>
第９時	お気に入りの校内施設について友達と尋ね合う。（パフォーマンステスト）	・ グループの中で豊玉中学校のお気に入りの施設を紹介し合う。 <u>☆（パフォーマンステスト）</u>	豊玉中学校のお気に入りの施設をプレゼンテーションで発表することができる。 <u>☆（パフォーマンステスト）【思・判・表】</u>

6 本時

(1) 目標

whereで始まる疑問文を使った会話を聞いたり、whereで始まる疑問文を使って話したり書いたりする。

(2) 「わかる」授業デザインへの工夫

- ①身近な話題で新出文法の場面を設定
- ②視覚的に理解を深めるための ICT の活用
- (3) 生徒が主体的に「できる」と確認したくなる授業デザインの工夫
 - ① 新出文法の定着度合いを確認するためのクイズ大会の実施
 - ② ペアワークや4人組における協働学習の実施
 - ③ できたかチェックのまとめプリントや、単元まとめとしてのパフォーマンステストの実施
- (4) 展開(全9時間中の第3時)
 - ★「わかる」授業デザインへの工夫
 - ☆生徒が主体的に「できる」と確認したくなる授業デザインの工夫

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 7分	1 挨拶 T1: Hello, everyone! S1: Hello. Mr. (). T2: How are you? S2: I'm fine, and you? T3: I'm good. Let's start with lesson. 2 帯活動のスマールトーク 3 本時の目標と流れの確認 T4: Now, let's check today's goal and menu.	・授業の見通しをもたせる。	・好きなことについて伝え合おうとしている。 <u>☆ペアワーク【主】</u>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> Today's Goal: You can use 'where'. </div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> Today's Menu: ①Grammar ②Listening ③Activity </div>			
展開 35分	4 where の復習 文法のクイズに答える。 T5: Let's review the grammar 'where'. Make groups of four members. Move your desk. T6: Let's start the quiz. Are you ready?	<u>☆4人組による協働学習</u> ・4人班を作らせ、班で1つホワイトボードとペンを持って行かせる。	・where の問題に正解することができる。 <u>☆4人組による協働学習【知・技】</u>

<p>Q1 私の鞆はどこですか？ () is my bag?</p> <p>Q2 理科室はどこにありますか？ (the/is/room/where/science/?)</p> <p>Q3 あなたは、ふだんどこで走りますか？ (you/usually/do/run/where/?)</p> <p>Q4 About you Where do you usually study?</p> <p>Q5 About Toyotama JHS Where is the teacher's room? - It's on the () floor.</p> <p>Q6 About Picture Where is the racket?</p> <p>Q7 About Picture Where is the PC?</p> <p>Q8 About Picture Where is the cup?</p> <p>Q9 About Picture Where is the book?</p> <p>Q10 About Picture Where is the bag?</p> <p>T7: That's all for the quiz. The winner is group No.○! Congratulations! Please move your desk.</p> <p>5 新出単語の確認 T8: Next, let's check the new words. Repeat after the sound.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1問の制限時間は30秒で答えをホワイトボードに書く。正解するごとに1ポイント加算される。 ・ ホワイトボードに記入する生徒が固定されないように1問ずつ交代で書かせる。 ・ 問題はすべてスクリーンに映し出す。 ・ その都度正答をスクリーンで確認し、ポイントを整理してリズムよく進める。 ・ デジタル教科書のフラッシュカードを英語→日本語、日本語→英語で1回ずつ発音させる。 	
---	---	--

<p>6 リスニング問題</p> <p>T9: Let's try the listening question.</p> <p>T10: Please listen again and check the answer together.</p> <p>7 ディズニーランドのマップを見て、グループでアトラクションの場所についてたずね合う。</p> <p>T11: Let's watch a video from the sky.</p> <p>T12: Let's do the next activity. Do you know what map this is?</p> <p>S3: Disneyland!</p> <p>T13: That's right. It's a map of Tokyo Disneyland. Do you like Disneyland?</p> <p>S4: Yes, I do.</p> <p>T14: Oh, good. Me, too. Look at the map of Disneyland and ask each other about the locations of attractions and stores. I'll show you examples.</p> <p>インフォメーションギャップによるクイズをペアで行う。</p> <p>T15: Ex) Where is Splash Mountain? -It's in Critter Country.</p> <p>T16: I'll give you 5 minutes. So, please look at the map and take turns in asking 7 questions. Ready go!</p> <p>S5: Where is ○○?</p>	<p>・ 2 回目の聞き取りでは階数を示す前置詞 on にも気付かせる。</p> <p>★身近な話題で文法の場面を設定</p> <p>・ スクリーンでディズニーランドの空撮ビデオを観る。 (YouTube/2min)</p> <p>・ スクリーンにマップを映し出す。</p> <p>☆ペアワークにおける協働学習</p> <p>・ ワークシート A B (地図) のそれぞれを配る。 ※発展クラスではより情報の多いものを使用する。</p> <p>・ 教員が実演し、見本を見せる。 ・ 質問と解答を、交互に行う。</p>	<p>・ Where を使って、相手に伝わるよう粘り強く演習に取り組んでいる。☆ (ペアワーク) 【主】</p>
---	--	---

	<p>-It's in □□. (7-10 Questions)</p> <p>T17: Time's up. Let's check the answers together. I'll ask you, please answer it.</p>	<p>・机間指導で、手が止まっている生徒のヒントを与えるなどサポートをする。</p> <p>・全問をランダムに質問する。</p>	
<p>まとめ 8分</p>	<p>8 まとめプリント記入 T18: Now, let's write your three questions and answers.</p> <p>9 ワークシートを回収する。</p> <p>10 挨拶</p>	<p>☆まとめプリントの実施</p> <p>・配布したワークシート裏面に、7のアクティビティで使った質問と答えの文を3つずつ選び、書かせる。</p> <p>・ワークシートはwhereとinの定着を確認する。</p>	<p>・whereを使って場所を尋ねる英文を書くことができる。☆まとめプリント【思・判・表】【主】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">Today's Summary</p> <p>1 ディズニーランドのアトラクションの場所をたずねる言い方。 Ex) Where is Splash Mountain?</p> <p>2 1の質問に対する答え。 Ex) It's in Critter Country.</p> </div>

6 本実践を通して指導者の分析

本単元を通して、whenやwhereを用いた会話をするようになった生徒が多かった。本時を通して、ウォームアップ時の簡単なやりとりにおいて、スムーズな応答も見られるようになった。また、本単元の最後にALTとのスピーキングテストを行い、Where~?の質問に対して自分の言葉で答えることができる生徒が70%ほどであった。

本時の導入で行ったホワイトボードを使用した文法クイズでは、スペルの間違いが多くみられた。会話での発音は理解しているが、正しく書くことについては、適切なタイミングでの指導が必要だと感じた。

生徒にとって身近な話題である「ディズニーランドのマップ」を用いたインフォメーションギャップ活動では、より実際の会話に近い場面設定となったため、「わかる」から「できる」につなげるしかけとして有効な手段であった。

今後も、生徒が興味をもちやすい話題を扱ったインフォメーションギャップ活動を通して、英語に対する意欲と話すこと（やりとり）の力を養っていく。